



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2002年7月1日発行 第32号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

2002年度定時総会開かれる

2002年度の定時総会は、去る5月12日（日）午後2時よりかながわ県民活動サポートセンター711号室に会員40名余が参加し、廣瀬理事の司会により始まった。

開会に先立ち、当協会の運営に多大のご尽力をくださった亡き植田伊津前副会長のご冥福を祈り、黙とうを捧げた。この後、下山会長の挨拶に続き議長を選出し、議事に入った。

飯塚常務理事による2001年度事業報告、齋藤副会長による決算報告のあと、井口監事の監査報告があった。

つぎに、2002年度の事業計画、予算案が審議され、原案どおり可決された。

続いて、役員改選の審議に入り新理事として、重田忠氏、高柳治子氏、宮川美句子氏、安田秀之氏、渡邊昭夫氏が新たに推挙され、いずれも全員賛成で可決承認され無事総会を終了した。

なお、総会終了後、スペイン・サロンを開催し、山崎宗城会員による「スペインワイン」をテーマとした話があり、その後、数々の珍しいワインを試飲しながら歓談し、楽しいひとときを過ごした。



▲挨拶をする下山会長

新役員紹介

5月12日の2002年度定時総会で、新役員が下記のとおり承認された。

なお、役員の役割分担を明確にし、会運営の充実をめざして努力することになった。

会 長	下山 貞明	再:	理 事	重田 忠	新:	スペイン語教室担当
副 会 長	齋藤由基彦	再:	理 事	高柳 治子	新:	文化講座担当
副 会 長	飯塚 勲	再/新:	理 事	西丸 與一	再/新:	広報担当
常務理事	廣瀬 勝亮	再/新:	理 事	三崎 輝夫	再/新:	広報担当
常務理事	宮崎 紗伎	再/新:	理 事	安田 秀之	新:	文化講座担当
常務理事	寺原 瑛子	再/新:	理 事	宮川美句子	新:	スペイン・サロン担当
理 事	池本 三郎	再:	理 事	渡邊 昭夫	新:	広報担当
理 事	上野 淑子	再/新:	監 事	井口 孝利	再:	
理 事	鎌田 暁子	再:	監 事	小田 泰治	再:	

※ 役割担当の 再: は、再任。新: は、新任。再/新: は理事としては再任、役割または役職が新任を示す。

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

本年度7、9月のスペイン・サロンのご案内を致します。お知り合いや友人をお誘い合わせ、多くの皆様のご参加をお待ちします。協会員以外のご出席も心より歓迎いたします。

なお、サロンは原則として、毎月第3土曜日の午後2時30分から開催します。会場は月によって変更されることがありますので、『AIYES通信』でよく確認の上お越し下さい。

参加費は原則会員無料、非会員500円です。

●2002年7月例会

日 時： 7月20日（土）14：30～16：30

場 所： 県民サポートセンター7階／710号

テーマ： 『スペインについて話そう』（その1）

<コスタ・デル・ソル>について出席者の皆さんに思い出の話を、それも旅行の本に無いような人々とのふれあい、文化、生活習慣ホームステイなどなど面白かったこと、失敗談など話したいと思います。今回は、この地区に詳しい当協会の武藤崇さんに10分間程話を切り出してもらい、その後皆で話し合いたいと思います。

●2002年8月例会 8月のスペイン・サロンはお休みです。

●2002年9月例会

日 時： 9月21日（土）14：30～16：30

場 所： 県民サポートセンター6階／604号

テーマ： 『スペインについて話そう』（その2）

日本からスペインに渡って、両国のために尽力して来たいいわゆる<民間大使>といわれるような人々が多くいます。そして当協会にもオリンピック競技の武道を教えたり、日本レストランの立ち上げに参画したり、企業の技術指導などなど公私に亘りご苦労された人がいます。その人達に経験話をして頂ければと企画しています。

会員の斉藤守弥さんは、スペインで武道（空手）を指導された経験をお持ちです。そこで最初に、この経験談を切り出して頂き、その後皆で話し合いたいと思います。

スペイン・サロン委員からのお願いとお知らせ

毎月スペイン・サロンを開催しておりますが、会員全ての皆様にご満足していただけるサロンを企画するまでに至っておりません。出来るだけ出席の皆様の話の輪に入ってもらうためにこの度、大テーマを『スペインについて話そう』とし、サブ・テーマに旅行の本には無いような人々とのふれあい、文化、生活習慣、地域的な特殊な行事、ホームステイなどなど面白かったことや、日本と違った観点を話してみようと企画いたしました。こちらが考えていること、スペイン人の受け取り方の違いを知ることはAIYESの理念である相互理解の趣旨に叶うと考え企画してみました。どうか皆様のご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

担当／大竹智栄子
宮川美匂子

鎌田暁子
牧瀬 貢

感動を体験 スペイン・サロン

●3月のスペイン・サロン

『サンチャゴ・デ・コンポステーラ』の話題に参加した際の感想を報告します。

ハイライトは、特に招かれた茅野紘一氏によるカミーノ・デ・サンチャゴの諸コースの説明がなされ、実際に同氏が踏破されたフランス、及び銀の道（La Ruta de la Plata）に就いての体験には、出席一同の驚嘆の声が上がった時でした。

同時に提供された同氏の著書『スペイン巡礼街道一人旅』を読んだ感想は、何とも言えぬ共感を覚えるものでした。セビージャ出発からサンチャゴ到達迄の長い道程を一步一步踏みしめて歩かれた同氏の精神力に拍手喝采です。

同文中、際立つ表現として“セビージャから約1050km、37日間の旅が明日にはサンチャゴへ着けるのだと思った時、急に目頭が熱くなって来た（P. 221）”誠に同感です。

同席者中、サンチャゴ詣でをした方々が何人か居られ、それぞれ自身の体験談を話されましたが、聖ヤコブの像に礼拝する瞬間の緊張感が心地良かったのではないかと(順番待ちで気忙しい為でもあるが)と思われます。

次回の旅行の時は、是非今回聞いた内容を参考にして訪ねてみたい、その中でも特にサンチャゴ・デ・コンポステーラのパドールに泊ってみたいと思いました。 報告者：根岸 清永

●4月のスペイン・サロン

『スペインのスポーツについて』話して下さったマルク・ベルナベさんは、本当に流暢な日本語を話されます。彼は、バルセロナ生まれの25歳の好青年です。バルセロナで日本語を学び、日本文化を研究するために、京都外国語大学に1年間留学し、日本語を磨いたということです。

一旦故郷に帰られましたが、今回幸運にも横浜市企画局W杯推進課に採用され、現在は横浜の市役所で活躍されているそうです。また彼は、日本に関する本を2冊(JAPONÉS EN VINETAS「マンガの日本語」とKANJI PARA RECORDAR「覚えるための漢字」)を出版され、売れ行きは予想以上に良いようです。彼はまた、自分のホームページ(www.nipoweb.com)も開いています。

話は、OHPを使って「スペイン小史」から始まりました。この話の中で最も印象的だったのは、スペインは18世紀の王位継承戦争後、真の統一がなされたこと。そして19世紀にかけて一旦は国家が死にましたが、その後再生した(Muerte y renacimiento de una nación)ことを強調されたことです。

次に、「スペイン人の好きなスポーツは何か」について話されました。

スペインのサッカーは100年以上の歴史を持っているとのこと。そして、スペイン国民の90%が、どこかのチームのファンとなっているそうです。スペイン人は地域の連帯感が強く、地元チームを最優先する人が70~80%とされています。

今ではスペインのチームは企業として組織され「金稼ぎマシン」となっています。スペインのリーグは「世界一のリーグ」とされていますが、大スターの多くが外国人です。

クラブチームの強さは証明されていますが、国の代表が出場するW杯やオリンピックになると、今一つというのが、スペインのサッカーの悩みです。

その他のスポーツのテニス、ゴルフ、バレーボール、ハンドボール、サイクリングもサッカーに比べるとマイナーですが、応援はするそうです。

ベルナベさんはW杯後大阪の大学で、国費留学し日本語と、日本の文化を勉強されるそうです。またお話を聞かせていただければと思います。 報告者：安田 秀之

●5月のスペイン・サロン

『スペインワインについて』についての第Ⅱ弾でした。

昨年10月の「アンダルシア州フェア・in 横浜」で、アンダルシア特産のワイン“シェリー酒”について会員の山崎宗城さんに解説してもらったのは、記憶に新しいところですが、今回も山崎さんにスペインを代表する“リオハ(Rioja)”ワインを中心に話して頂きました。

葡萄の木の分類、赤、ロゼ、白ワインの製造法、生産地域の違い、グレード、そして選択法、嗜み方、香りなどエキスパートの立場より分かりやすく説明していただきました。

日本国産、スペイン産のCrianza、Reserva、Gran reserva、葡萄から造った高アルコール(50%)のオルホ(Orujo)、そしてフランスワイン等の試飲をしながら、スペインの広々とした葡萄畑に思いを馳せ、ワインの香りと味を楽しみました。

今回は、年度総会後の開催で出席者も多く、賑やかなサロンとなりました。 報告者：牧瀬 貢



▲感動を再現！サンチャゴ・デ・コンポステーラへの道



▲OHPを使い巧みに説明、W杯にもかなり強くなりました



▲ワインの試飲にフジテレビの取材も入って、ますます上機嫌

***** 新文化講座からのお知らせ *****

スペイン音楽サロンをはじめます！

当協会の音楽好きな方を中心に、念願のスペイン音楽サロンが開設されます。

まず初年度の本年は、音楽評論家の浜田滋郎氏が「カスティーソの魅力を持つ」と言う、最もスペイン的な音楽の一つサルスエラを取り上げます。

第1回はサルスエラ・グランデの傑作「ラバビエの床屋」です。当日はリブレットのコピーを配布しますが、これは通常LPやCDの解説書には絶対添付されない貴重なものです。

またこの曲は楽しく、充分楽しむことができること請け合いです。ぜひご参加ください。

会員外の方のご参加ももちろん大歓迎いたしますので、音楽の好きなお友達をお誘いください。

なおスペイン音楽サロンは、今後原則として毎月第2火曜日に開催の予定です。

● 第1回（9月）スペイン音楽サロン

日 時： 9月10日（火）13：30～15：30

場 所： かながわ県民サポートセンター7階／707号室

会 費： 会員1,000円 非会員1,200円（飲み物付）

● 配布資料準備の都合上、できれば参加希望者は事前にお申し込みください。もちろん当日飛び入りの参加も大歓迎です。

● 申し込み／問い合わせ先：安田秀之

心に残る押し花－押し花教室に参加して

イギリスで押し花作品に出会い、ズーッと心に残っていましたが、思いがけずこの教室に参加する機会に恵まれました。

押し花を使って何を、どのように作ろうかと思ひ巡らせるととても楽しい時間です。また、一枚の花びらが、こんなにも美しかったのだなと気づかされます。

みなさんも身近に咲く季節の花を押し花で、素敵な作品に変身させて楽しみませんか！

報告者：笹倉和世

押し花教室の今後の予定は下記のとおりです。

日 時： 7月15日（月） 13：00 ～ 15：00 県民サポートセンター7階／706号室

8月 8月の押し花教室はお休みです。

9月30日（月） 13：00 ～ 15：00 県民サポートセンター7階／701号室

会 費： 各回とも 3,500円（材料費込み）

●申し込み／問い合わせ先：伴野 忠子

廣瀬 孝子

第2回スペイン料理の会 参加者追加募集中！

来たる7月14日に開催されます「第2回スペイン料理の会」は、まだ若干余裕があります。ぜひご参加下さい。なお先着順になりますのでお早めにお申し込みを。

日 時： 7月14日（日） 12：00～14：00

場 所： スペイン料理「オリーブ」（横浜駅東口より徒歩3分）

横浜市西区高島2-5-10 TEL：045-441-4996

会 費： 2,500円

テーマ： 天正少年使節団がスペインで食べたものとは？

天正10年（本能寺の変の年）。大友・大村・有馬の九州3大名から、ローマ教皇に派遣された少年達が、スペインを通過する時に食べたであろう食材を使って、文献を頼りに想像力も加えて「オリーブ」の中村シェフが当時の料理を再現するべく腕を振るってください。

申込み： 名前、人数、住所、電話番号を下記まで、ハガキまたはファックスでお申し込みください。後日詳しくご案内を差し上げます。

申込先： 広瀬 勝亮

スペイン語教室紹介第4回 アマポーラ教室

この4月から会員のエミリオ・オルモス先生をお迎えして新設しました入門クラスの教室『アマポーラ』を、受講されている清田豊さんに紹介して頂きました。

4月8日から始まったスペイン語入門者のための『アマポーラ』教室に参加している。AMAPOLAという名が付いているのでアグネス・チャンみたいなSeñoraかSeñoritaが講師かと思ったら、Emilio Olmosという名のSeñor講師。年齢は私と同じ位の高年域に属し、生粋のMadridッ子。標準スペイン語で勉強が出来、幸先が良い。授業前、授業後は柔和なニコニコおじさん。

授業はABCの発音からスタートした。教科書の内容はあらかじめ各自、自宅で予習させ、教室では会話練習、応用練習、スライドを見ながらの対話練習、聞いて書く練習etc. 授業中の講師は自らが作り上げたであろうメソッドに基づきキビキビとして実に熱心に効率よく教えてくれる。情熱の国スペイン人の血が騒ぐのか、何とかして解からせてやろうと、頭の中へ嵐を吹き込むように一生懸命で、間違ったところは徹底的に直し、良く出来ると‘¡Muy bien!’と言って我が事のように喜んでくれる。一方われわれ生徒15名、主力のSeñora軍団に華のSeñorita 1人、それにSeñorが、私を含めてパラリと3人。それぞれ胸にスペイン語学習の目的意識を抱きながら熱気にあふれて勉強している。



▲情熱に魅せられて生徒もやる気満々アマポーラ教室

池本理事「日本さくらの会」より表彰を受ける

3月27日、東京千代田区にある「憲政記念館」で、財団法人日本さくらの会が主催する第37回さくら祭り中央大会が「2002年さくら100万本植樹・愛護運動」全国大会と称して開催された。

このおり、「昭和61年、横浜市根岸公園に横浜緋桜を初めて植樹。その後、市内の公園や横浜公園開園120周年記念事業にこの桜の植樹を提案、記念植樹するなど横浜緋桜の普及に尽力した。また、スペインへの桜植樹、長野県池田町の『桜の町』運動への協力など幅広い活動を展開している」との理由で、池本三郎当協会理事が「さくら功労者」の一員として表彰された。

池本さんは表彰の該当理由の中にも示されている通り、桜植樹担当理事として当協会がスペインへ桜を植樹したさいには、その持てる知識と技術を大いに発揮され、活躍をしてくれた。

今後、スペインに植えた桜の成長には、メンテナンスが欠かせない。これからますます池本さんの知識と技術が当協会にとっても重要になる。

池本さん、表彰ほんとうにおめでとう！

会員投稿

Extremadura のマリアたち

大竹 智栄子

念願叶ってスペイン一人旅。Santiagoを起点にGalicia地方を北へ南へ。紺碧の大西洋、珍しい貝類、そしてこの地方特有の白ワインなどを楽しんだ後、Extremaduraへと向かいました。

Jarandilla、Plasenciaなどを経てCáceresに着いた夜のことで、今から振り返れば“何故？”と思えるよう

な事に、私は不安を抱きました。旅も半ばの頃で、不十分なスペイン語での移動に少し疲れも感じ始めていたのでしょう。その夜、あるきっかけでGuadalupe在住の日本女性Y子さんと電話ができ、また彼女のご紹介でCáceresに住むR子さんとも知りあえ、そのR子さんの一言で私の不安も一気に解決となりました。

翌朝、ホテルに迎えに来てくれたR子さんの案内で私達は旧市街を散策に出掛けました。マヨール広場を背にエストレージャ門をくぐると、そこは中世の世界の中に迷い込んだ思いです。紋章にとっても詳しい（必然的に歴史にも精通）彼女のガイドはプロ以上で、スペインの歴史に興味を持つ私はワクワク



▲Extremaduraのマリア宅にて、坊やを抱く筆者

しどうしてでした。ご主人の仕事の関係で、ここに住んでもう20年というR子さん、まったくスペイン語を知らずに来る事になり、それから興味を持たれ、特にそれぞれの家柄の紋章に関していろいろな街を調べて歩かれたそうです。初対面なのにぎこちなさもなく、おしゃべりは途切れる事を知らず、彼女の家へ、そして彼女の車でTrujilloへと運ばれました。その後、彼女は私の宿や後の交通手段の手配を見届けて、少し遅くなってしまったご主人とお昼ご飯の為、Uターンです。4～5時間位のお付き合いだったのに、「また絶対逢おうね!」の言葉を残して…。

お陰ですっかりお気楽モードに変身できた私は、路地から路地へコンキスタドール達のお宅巡りや、町並みを一望できる城壁からの景色に満足し、今度はY子さんに会うことが一番の目的となったGuadalupeへと向かいました。

何の標識も無い、バス停らしき所で一緒に降りた女の子達に広場の場所を尋ね、教えてもらった方向へ歩いて行くと、ちらっと見えてきたmonasterioがどんどん迫ってくるようです。Y子さんのご主人の経営するbar、restaurant、hostalはmonasterioの真ん前。待ち合わせのbarではご主人のA氏が日本人を発見してニコニコ笑顔で迎えてくれています。そして数分後、乳母車を押しながら広場を横断してY子さんが登場し、お互い間違いようもなく、名を告げ、名を呼び、抱き合っの初対面。彼の故郷Guadalupeにお嫁に来て、もうすぐ1歳になる坊やのママY子さん、周りに溶け込んでしっかり根を下ろして、とてもお幸せな様子。お宅を訪ねたり、ドライブに連れ出して貰ったり、メニューにはない自家製ワインを飲みながらのbarでの尽きないおしゃべり、まるで姪を訪ねた叔母の心境です。お陰で心はゆったり。

以前から訪ねてみたいと思い続けていたExtremadura。訪ねたその街々は、期待を裏切る事なく、それぞれが表情豊かで心に残る街でした。そして旅の途中では、不安で少し落ち着きを失いかけていた私に安らぎを与えて下さった女性たちに巡り逢うことができ、殊のほかCáceres、Guadalupeは想い出深い街になりました。スペインを旅していると、どの街でもマリア（像）に出会います。Extremaduraで出会った、私にとっての二人のマリアに心からの感謝を。私のスペイン一人旅、嬉しい出会いの旅でした。

//////////////// 新入会員紹介 //////////////////

松波寿美子 (Sumiko Matsunami) 2002年3月1日入会

東京都豊島区

当協会会員のエミリオ・オルモスさんおよび、下山会長とは以前から知り合いました。そして下山会長の活躍ぶりには、尊敬の念を持っておりました。

2月のスペイン・サロン（エミリオさんのお話）に参加させていただき、皆さんの活発な活動に驚き、同時に皆さんと一緒に活動することができればと思いました。会員皆さまのご指導を、よろしくお願いいたします。

根岸光子 (Mitsuko Negishi) 2002年4月1日入会

横須賀市鴨居

10年前（'92年）、当協会の飯塚様ご夫妻のご案内で、日西交渉史ゆかりの地を訪ねました。その時の印象が忘れられなくて、昨年まで8回アンダルシアのマラガとその近くに2～3カ月滞在し、スペイン国内の小旅行をするようになりました。スペインは、何度行っても興味がつきません。会員として、スペインを身近に感じられたら嬉しいです。

田中頼子 (Yoriko Tanaka) 2002年4月18日入会

横浜市金沢区

娘を通してスペイン語圏の国々を知るきっかけが出来、スペイン語に関心を持つようになりました。ABCから始めてまだ、よちよち歩きですが、皆様のお仲間に入れていただくのを楽しみにしています。

谷本敬子 (Keiko Tanimoto) 2002年4月18日入会

横浜市金沢区

両親は生粋の京都人。私も“はんなり”おとなしい中年おばさん。それなのに何故か陽気なラテンのテンポが、妙に気になる。

「スペインで暮らしたい!」と言う私と、「アメリカで暮らしたい!」と言う夫。う～ん、夢は夢のままかな・・・。

雪山行二 (Koji Yukiyama) 2002年5月1日入会

東京都杉並区

26年間美術館で暮らしています。専門はスペイン美術、とくにゴヤです。本年4月1日から、みなとみらい地区にある横浜美術館に勤務していますので、みなさんお暇を見つけて、どうぞお越しください。

山下幸子 (Sachiko Yamashita) 2002年5月25日入会

横浜市神奈川区

昨年10月8日、ワールドポーターズに出かけました。そこで“アンダルシア州フェア・in・横浜”に遭遇。前々からスペインに興味を持っていた私は、たくさんのイベントに時を忘れ、楽しく過ごしました。その折“横浜スペイン交流協会”の存在を知りました。

めぐり合いに感謝。何時の日か、歴史・文化・芸術など多彩な魅力あふれるスペイン旅行を夢見ています。

－賛助会員各社の会員サービス内容－

◆事前に会員証を提示することで、下記の賛助会員企業より、標記のサービスを受けることができます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオリーブ	横浜市西区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア一杯を無料
カサ・デ・フジモリ 関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア一杯を無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ 関内本店前	045-651-1074	サングリア一杯を無料
カサ・デ・フジモリ 目黒店	J R 目黒駅（東京）徒歩5分	03-5420-5328	サングリア一杯を無料
太陽海外航空(株)	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	成田空港使用料を、当社が負担いたします。
メイプル・ノブ	横浜市神奈川区西神奈川1-6-1 サクラビル701	045-321-5638	押し花材料代10%引
日西商事（うさぎのいる島）	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン一杯を無料

●スペインギターの夕べ

「パネビアンコとデルモナコ」

今秋、スペイン人とキューバ人からなる新進のギターデュオ「パネビアンコとデルモナコ」が来日します。横浜スペイン交流協会では、この2人を横浜に招き、特別に「スペインギターの夕べ」を開催します。2人の演奏はスペインギターが、ラテンアメリカのリズムに溶け込むという、かつて例のない独自のスタイルで、聴くものを夢の世界へと引き込みます。

◆日時：10月10日（木） 18：30開場 19：00開演

◆場所：みなとみらい小ホール

◆料金：前売券 会員1人 2,000円 非会員1人 2,500円
会員・非会員共ペア券 4,000円
当日券 会員・非会員共1人 2,500円

●チケットのご購入は、下記「横浜スペイン交流協会」名義の口座に、お近くの郵便局より、料金をお振込みください。

または、「よこはまみなとみらいホール」チケット販売窓口で
ご購入ください。

●公演当日この「振込みの控え用紙」（払込金受領書）を、会場受付
にご提示いただくと、座席指定券と引き換えさせていただきます。

●座席指定券との引き換えは、当日開場の2時間前から先着順に
行います。

●振込み口座番号：00290-7-21774

●振込み先名義：横浜スペイン交流協会

●通信欄記入事項：「スペインギターの夕べ」チケット〇〇人分
恐れ入りますが、振込み手数料はご負担ください。

●問い合わせ先：

廣瀬：

宮崎：

安田：

高柳：



事務局からのお知らせ

●ロンダへ“さくら”の花を見に行こう！

皆さまご存知のように、当協会がアンダルシア地方のロンダ市に“さくら”の苗木を植樹して9年が経ちました。さぞかし成長したことでしょう。そこで、この“さくら”のメンテナンスをかねて明年3月末ころ、ロンダ訪問のミッションを企画しています。

詳細が決まりしだい発表しますので、多くの会員の参加を希望いたします。

●協会ホームページ作成中

本年度の総会で承認された当協会ホームページ開設に向け、現在専門委員会がホームページを作成中です。早ければ今秋には完成の運びとなり、皆さんに利用していただけることになります。当協会も、いよいよ世界に向けて発信することになるわけです。ご期待ください。

<編集後記>

新年度を迎え、新しい役員の顔ぶれが決まりました。広報委員も三崎・渡邊両理事を中心にAIYES通信を発行することになりました。またご案内の通りホームページを開設することになりました。より多くの情報を会員の皆様にお届けできる環境を作り、サービスの向上を目指してまいります。ぜひご期待下さい。

* 投稿寄稿宛先

横浜市青葉区しらとり台

横浜スペイン交流協会会報係